

令和6年度 ビジネス基礎 シラバス

科目名	ビジネス基礎	単位数	2 単位	対象 部・年次	1・2 部 4 年次選択
使用教材					
教科書等	『ビジネス基礎』(実教出版)			副教材	学習プリント
学習の目標					
・ビジネスに関する基礎的な知識・技術を習得させ、経済社会で生きていく力を身につけさせる。 ・経済社会の一員としての心構えをもたせ、ビジネスの諸活動に適切に対応できるような能力・態度を養う。					
学習計画					
学期	学習内容			学習のねらい	
前期	第1章 商業の学習ガイダンス 1 21世紀を生きる 2 ゆっくり楽しく学ぶ 第2章 経済生活とビジネス 1 経済のしくみとビジネス 2 ビジネスの役割 3 ビジネスの発展 4 ビジネスに対する心がまえ 第3章 ビジネスと流通活動 1 経済活動と流通 2 流通活動の特徴 3 流通活動と企業			・「ビジネスの理解力と実践力を身につけること」が商業を学ぶ目的の一つであることを理解させる。 ・商業科目を学ぶ意欲を引き出す。 ・経済について、生産・流通・消費のつながりや、経済主体としての家計・企業・財政を理解させる。 ・ビジネスの発展による利点・国際化を理解させる。 ・情報化がビジネスにおいて重要であることを理解させる。 ・経済生活における流通の重要性について学習させる。 ・生産と消費の隔たりが広がる現在、流通の重要性が増していることを理解させる。 ・流通のはじまりと発展の流れを歴史的に概観させる。・生産と消費の間の隔たり、商的流通と物的流通について・企業形態の種類・特徴や経営組織について理解させる。	
	4 ビジネスの担当者 第4章 ビジネスと売買取引 1 売買取引と代金決済 2 売買に関する計算 第5章 外国人とのコミュニケーション			・生産者の役割・種類について理解させる。・売買業者のビジネスが小売業と卸売業にわかれることを説明し、小売業者の役割を理解させる。 ・小売業者・卸売業者の役割、物流業者の動向について理解させる。 ・資金の需要者と供給者の隔たり、その橋渡しを理解させ、金融機関について理解させる。金融機関の業務内容について理解させる。 ・クレジットカード、デビットカード等の役割について理解させる。 ・電子商取引の概要と決済方法について理解させる。 ・割合の基礎である分数・小数などの表示方法や基本的割合に関する公式を理解させ、商業計算の基礎を理解させる。 ・数量・代価・仕入原価・度量衡外国貨幣を学習させる。 ・コミュニケーションの心構えとして外国の文化や習慣を知る。	
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現		技能	知識・理解
趣旨	ビジネスの諸活動に広く関心を持ち、その意義や役割の理解及び諸問題の探求を目指して、主体的に学習に取り組む。	ビジネスに関する諸問題を経済生活との関連からの確に把握し、自ら考察を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。		ビジネスに関する基礎的・基本的な技術と望ましい心構えを身につけ、経済社会の一員としてビジネスの諸活動を適切に実践するとともに、その成果を的確に表現する。	商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。
評価の方法	・出席の状況。 ・課題やレポート等の提出状況及びその内容。	・発表の内容。 ・定期考査の中に「思考・判断・表現」を問う問題を出題する。		・実習等の学習活動におけるレポートの提出及びその内容。 ・実習等の取組状況。 ・定期考査の中に実習の技能を問う問題を出題する。	・定期考査及び小テストの中に実習を問う問題を出題する。
配点(pt)	200	100		100	600
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 日常生活の中でビジネスに関することやものに興味を持ち、それについて考える態度を持つこと。 2. 疑問に思ったことを確かめようという態度を持つこと。 3. 電卓を使った計算をするが、電卓の利用法を身につけること。					

令和6年度 ビジネス基礎 シラバス

科目名	ビジネス基礎	単位数	2 単位	対象 部・年次	3 部 4 年次
使用教材					
教科書等	『ビジネス基礎』(実教出版)			副 教 材	学習プリント
学習の目標					
・ ビジネスに関する基礎的な知識・技能を習得させ、経済社会で生きていく力を身につけさせる。 ・ 経済社会の一員としての心構えをもたせ、ビジネスの諸活動に適切に対応できるような能力・態度を養う。					
学習計画					
学期	学習内容			学習のねらい	
前期	第 1 章 商業の学習ガイダンス 1 21 世紀にはばたく 2 しっかり楽しく学んでいこう 第 2 章 経済と流通の基礎 1 経済のしくみとビジネス 2 社会の変化とビジネスの発展 3 経済活動と流通 第 3 章 ビジネスの担い手			・「ビジネスの理解力と実践力を身につけること」が商業を学ぶ目的の一つであることを理解し、商業科目を学ぶ意欲を引き出す。 ・経済について、生産・流通・消費のつながりや、経済主体としての家計・企業・財政を理解する。 ・ビジネスの発展による利点・国際化を理解する。 ・社会の発展により、情報化が進んでいることを理解する。 ・生産と消費の隔たりが広がる現在、流通の重要性が増していることを理解する。 ・生産者の役割・種類について理解する。 ・売買業者のビジネスが小売業と卸売業にわかれることを理解し、小売業者の役割を理解させる。 ・小売業者・卸売業者の役割、物流業者の動向について理解する。	
	第 4 章 企業活動の基礎 1 ビジネスと企業 2 資金調達 3 企業活動と税 4 雇用 5 企業倫理 第 5 章 ビジネスと売買取引 第 6 章 売買に関する計算 第 7 章 ビジネスとコミュニケーション			・資金の需要者と供給者の隔たり、その橋渡しを理解させ、金融機関について理解する。また、金融機関の業務内容について理解する。 ・クレジットカード、デビットカード等の役割について理解させる。 ・電子商取引の概要と決済方法について理解させる。 ・割合の基礎である分数や小数などの表示方法や、基本的割合に関する公式を理解させ、商業計算の基礎を理解させる。 ・数量・代価・仕入原価・度量衡外国貨幣を学習させる。 ・コミュニケーションの心構えとして外国の文化や習慣を知る。	
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
趣旨	ビジネスの諸活動に広く関心を持ち、その意義や役割の理解及び諸問題の探求を目指して、主体的に学習に取り組む。	ビジネスに関する諸問題を経済生活との関連から的確に把握し、自ら考察を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術と望ましい心構えを身につけ、経済社会の一員としてビジネスの諸活動を適切に実践するとともに、その成果を的確に表現する。	商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。	
評価の方法	・出席の状況。 ・課題やレポート等の提出状況及びその内容。	・発表の内容。 ・定期考査の中に「思考・判断・表現」を問う問題を出題する。	・実習等の学習活動におけるレポートの提出及びその内容。 ・実習等の取組状況。 ・定期考査の中に実習の技能を問う問題を出題する。	・定期考査及び小テストの中に実習を問う問題を出題する。	
配点(pt)	200	100	100	600	
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 日常生活の中でビジネスに関することやものに興味を持ち、それについて考える態度を持つこと。 2. 疑問に思ったことを確かめようという態度を持つこと。					